

往くを聴といい 来るを聞といふなり

第3回

杉岡 誠 村長の 愛楽故郷味

あいらくふるさとみ



今回初めて開催しました住民懇談会は、正しく「聴く」ときに重きをおいたものでした。「わくわく」できる生活を送れるように、自分なりに「わくわく」を探したい。村にもそんな政策を進めてほしい」といった期待を込めたご意見等も頂戴し、大変意義深いものとなりました。

9月3日、4日、10日と、村内で3回、村外で2回の計5回にわたり、村民の皆さまのお声を聴く住民懇談会を開催しました。

最古の漢字辞典「説文解字」に「往くを聴といい、来るを聞といふなり」という言葉があります。「出かけて往(い)つて聴くことを『聴』と言ひ、聴いて知らされたことが来て(聞こえて)心に染み入ることを『聞』と言う」と訳されます。ともに「きく」と読む漢字でありながら、「聴く」は自ら積極的に聴くこと、「聞く」は自然(じねん)に聞こえてくること、英語で言えば前者は Listen、後者は Hear と言うことでしょう。言の葉の深淵に触れることにも「わくわく」を感じます。

ふるさと飯館村の「味わい」を愛し、楽しむ「愛楽故郷味(あいらくふるさとみ)」。

9月19日「敬老の日」には、ご家族皆さままでお祝いをなされたことと思います。

村としても9月11日に敬老会を開催するための準備をしておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大がおさまらず止む無く中止を致しました。来年こそは、御歳を重ねられた日々を想い、皆さまのご長寿とご健康を喜び、お一人お一人を「うやまう」場を設けさせていただきたいと思っております。

どうぞ「健やか」にお過ごし下さいますようお願い致します。

ふるさと飯館村の「味わい」を愛し、楽しむ「愛楽故郷味(あいらくふるさとみ)」。

ふるさと資源

発掘図鑑!



#道の駅にハチ公が登場

平成25年に渋谷公園通商店街振興組合から飯館村に贈られた「忠犬ハチ公」のオブジェが、道の駅「までい館」に展示されています。壁面には「東大むら塾 飯館班」の鎌倉啓伍さんによる研究資料が掲示されていて、このオブジェの生い立ちを含む「忠犬ハチ公」の物語を楽しむことができます。

皆さんからの情報や投稿でつくるページです

どなたでも投稿できるコーナーですので皆さんも身近な話題をどしどしお寄せください!

飯館村広報委員会(村づくり推進課企画定住係)

☎0244-42-1613



#空に見とれた日



上の写真は、9月20日、大井美千子さん(草野)がスマートフォンのカメラでとらえた夜明けの空。雲のグラデーションが神秘的で美しいですね。下の写真は、同じ日に村役場で撮影した夕焼け空です。雨に濡れたアスファルトまで、オレンジ色に染まっていました。

ひとのうごき

結婚おめでとう

氏名	出身地
庄司 伸也さん	伊丹沢
大槻 桃子さん	伊達市

HAPPY WEDDING!

ひとのうごき 令和4年8月31日現在

人口	今月(前月比)	8月1日~31日までの人口動態
●男	2,458人(-10)	転入 0人
●女	2,444人(-6)	転出 12人
計	4,902人(-16)	出生 0人
世帯数	1,812戸(+1)	死亡 4人
		(住民基本台帳人口)

(8月21日から9月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へ申し出てください。

おくやみ

氏名	年齢	行政区
佐藤 初代さん	80	関沢
佐藤 ナツイさん	86	前田
高田 道男さん	90	関根・松塚
菅野 益男さん	70	長泥
浦住 貞子さん	87	前田
菅野 ミイさん	91	長泥

ご冥福をお祈り申し上げます

村民広報委員 ぶじおさんの



いいさて 宝さがし 第3回

急に秋になった頃

相馬市に住む神野クニミさん(長泥)を訪ねました。避難する前、素晴らしい習字(日本習字連盟)を書かれていたことを知っていたからです。また、日本舞踊(藤山流)にも精通されていて、飯館の文化祭などでも披露されていたと聞きます。

現在は、写経をしたり、「ころころ草履(ヨコスカスリッパ)」やチラシなどを再利用した手作りカバンを製作したりして、東京のイベントなどにも出品しているとのこと。

「避難した相馬市で旦那さんを亡くして少し寂しい思いをしましたが、いろいろな趣味を続けることで、一人で毎日を楽しく元気に暮らしています」と語ってくれました。長泥に住んでいた頃の思い出が私の宝だとも話してくれました。

帰り際、白い秋桜がひとり暮らしを応援するかのよう、ゆるく揺れていたのが印象的でした。

